

## 商品先物取引とは？

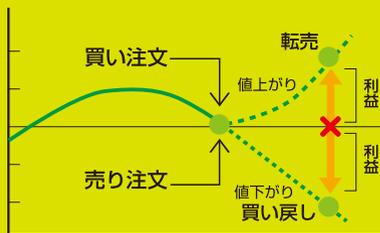
ある商品の  
将来の価格を「いま」  
決める取引を  
商品先物取引といいます。  
取引の際には「証拠金」と  
呼ばれる担保を預け入れる  
必要があります。



### 商品先物取引の POINT

- 【資産運用機能】 投資家の皆さまは、商品をやり取りせず、「買い」と「売り」の価格差で生じる利益を見込んだ、資産運用を目的とした取引が可能です。
- 【リスクヘッジ機能】 商品の生産・加工・流通・販売に携わる事業者の皆さまは、価格変動に伴う経営リスクの回避を目的とした取引が可能です。
- 【現物調達・販売機能】 もちろん商品の仕入、売却も可能です。
- 【金融補完機能】 現物の売却と再度の購入で一時的な資金調達も可能です。

## 商品先物取引の利益と損失



買った後に値上がり  
または、売った後に  
値下がりすれば利益となり  
その反対の場合は  
損失となります。

資産運用としての商品先物取引は、「先物価格」の値上がりや値下がりを利用して、利益を期待する差金決済取引です。証拠金を預け入れることで、その何倍もの大きな金額の取引を可能にしますが、同様の損失が発生するリスクもあります。この度、SPAN®による証拠金計算や損失限定取引「スマート CX」を導入し、取引がしやすくなりました。



## 商品先物取引の流れ

地球規模で時々刻々と移り変わる貴金属やエネルギー、農産物などの価格。商品先物取引はそうした価格を資産形成に役立てるダイナミックでグローバルな投資手段です。

投資家の皆さまには、経済産業大臣または農林水産大臣の許可を受けた「商品先物取引業者」を通じて市場にご参加いただけます。

最初のステップは取引口座の開設です。口座の開設に当たって、商品先物取引業者は、投資家の皆さまが取引のルールや取引に伴うリスクをきちんとご理解になっているかなど、基本的な事項を確認いたします。投資資金は、日々の生活に影響を及ぼさない余裕資金をご用意ください。

売買注文は商品先物取引業者の「外務員」や「インターネット」、「コールセンター」等を通じて発注いただけます。その際、取引口座には取引対象商品と取引内容に見合った証拠金が必要になります。証拠金は取引の担保です。取引の終了後には益金を足した額、または損金を差し引いた額が返還される仕組みです。証拠金および手数料の額は商品先物取引業者に直接お尋ねください

なお投資家の皆さまが預託した証拠金は、商品先物取引業者に滞留することなく、「日本商品清算機構」に差し入れ又は預託されます。このため万一の場合でも、投資家の皆さまの資産が棄損することはありません。

JCFIA  
JAPAN COMMODITY FUTURES  
INDUSTRY ASSOCIATION

### 日本商品先物振興協会

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 9-4 (7F)  
TEL : 03-3664-5731  
e-mail : jcfia@jcfia.gr.jp  
ホームページ : www.jcfia.gr.jp

Jcch

### 株式会社日本商品清算機構

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 9-4 (2F・3F)  
TEL : 03-5847-7686  
e-mail : span@jcch.co.jp  
ホームページ : www.jcch.co.jp

広がる個人資産運用の選択肢

# 商品先物取引が 大きく変わりました!

商品先物取引が  
生まれ変わりました。  
これまで以上にわかりやすく  
安心して投資できる商品先物取引を  
ご紹介します。



特設サイト「商品先物取引が大きく変わりました!」

[www.neo-cx.jp](http://www.neo-cx.jp)

ココが新しい!

## 損失限定取引“スマートCX”が登場



“スマートCX”では市場を大きく揺るがす不測の事態が起きても初期投資金額以上の損が生じることはありません。

市場では買いと売りの注文がマッチして取引が成立します。しかし注文がどちらか一方に偏るようなまさかの事態では、相場は暴騰・暴落に見舞われます。もちろん減多に起きることではありませんが“世界金融危機”の事例に見る通り、その可能性はゼロではありません。

問題はその時に不利な建玉をしていた場合です。しかし損失限定取引“スマートCX”なら、投資家の皆さまは、あらかじめ決められた水準で取引を終了し、損失の拡大を確実にくい止めることができます。

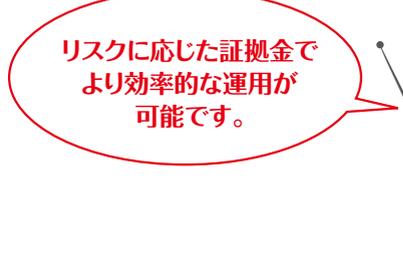
レバレッジ取引のメリットはそのままにしっかりと守りも固める。そんな取引です。



“スマートCX”では、投資家の皆さまの予想に反して損計算となった場合にそなえ、ロスカット取引が発動する価格水準を商品先物取引業者との間で合意していただけます。商品先物取引業者は相場がその価格に達したら自動的に損失確定の注文を執行しますが、問題は買い(または売り)に該当する注文が市場に出ない場合です。この異常事態に限って、商品先物取引業者は、商品取引所のルールに則って、あらかじめ定めた「損失限度額」までの範囲で、投資家の皆さまの注文を執行します。

ココが新しい!

## 証拠金はSPAN®で計算



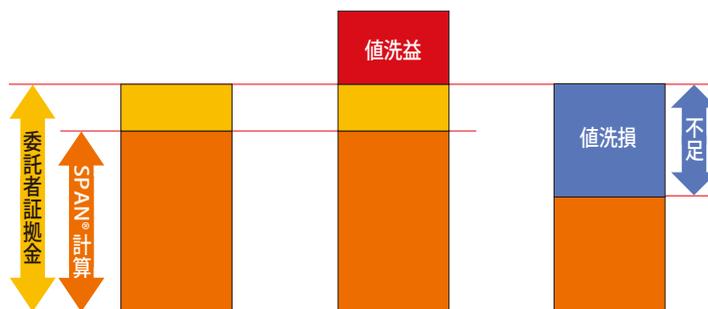
リスクに応じた証拠金でより効率的な運用が可能です。

商品先物取引にSPAN®が導入されました。商品先物取引業者は日本商品清算機構が発表するSPAN®の計算に必要な変数(SPANパラメータ)に基づいて証拠金計算を行い、これを基準に“委託者証拠金<sup>\*1</sup>”を決定します。投資家の皆さまが建玉を保有する間は、預託した証拠金額に計算上の利益または損失(現金授受予定額<sup>\*2</sup>)を加減した額(受入証拠金の総額<sup>\*3</sup>)が委託者証拠金を上回っていることが必要です。

### [証拠金取扱いの例]

SPAN®による計算額=200,000円

委託者証拠金=SPAN®計算×110%とした場合=220,000円



商品先物取引では、営業日ごとに価格変動に応じた値洗(ねあらい)を行います。値洗損等の発生の結果、不足(総額の不足額<sup>\*4</sup>もしくは現金不足額<sup>\*5</sup>)が生じ、なお取引の継続を望む場合には、委託者証拠金を上回るまで追加預託が必要です。かつての「追証制度」とは異なります。

## ここが知りたいQ&A

- Q 「リスクに応じた証拠金で効率的な運用」とはどのような意味でしょうか?  
 A SPAN 証拠金は過去の価格変動幅が大きい(=価格変動リスクが大きい)時には証拠金を厚く算出するため建玉を抑制する効果が発揮され、投資家の皆さまをリスクから守ります。価格変動幅が小さい(=価格変動リスクが小さい)時はその逆で、レバレッジを高め積極的な取引が可能になります。
- Q SPANパラメータはどのように決まるのですか?  
 A 過去の一定期間の価格変動を基準とし、翌営業日までに生じるリスクを算出して決定します。SPANパラメータは一定期間ごとに見直し、これに伴い投資家の皆さまが預託する証拠金額も変更になる可能性があります。
- Q 委託者証拠金額は商品先物業者により違いますか?  
 A 商品先物取引業者はSPAN®で計算した額を基準に、これを上回る額を委託者証拠金額として定めるため、業者により異なる可能性があります。
- Q かつての追証制度とは異なるとはどういうことですか?  
 A SPAN®で計算された証拠金額は常に維持する必要のある最低水準であり、これを割り込む状況となった場合には追加預託が必要です。例えば委託者証拠金額22万円、預り証拠金額22万円、値洗損2万円の場合、証拠金の担保力が20万円となり、必要な証拠金額に不足するため、最低2万円の追加預託が必要となります。

## KEYWORD

- <sup>\*1</sup> 委託者証拠金… 取引証拠金維持額(取引証拠金所要額+取引受渡証拠金)以上の額で、商品先物業者が定める額
- <sup>\*2</sup> 現金授受予定額… 値洗損益金、売買差損益金や手数料等、商品先物業者と委託者の間で清算すべき額(当該額が負の場合「現金支払い予定額」という)
- <sup>\*3</sup> 受入証拠金の総額… 預り証拠金に現金授受予定額を加減したものの
- <sup>\*4</sup> 総額の不足額… 受入証拠金の総額から委託者証拠金を差し引いた額が負の場合の額
- <sup>\*5</sup> 現金不足額… 預り証拠金のうち現金から現金支払予定額を差し引いた額が負の場合の額